

## 週休2日工事実施要領

### (目的)

第1条 この要領は、建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、週休2日による施工の実施方法、提出資料その他必要な事項について定め、働き方改革の実現に資することを目的とする。

### (定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

#### (1) 週休2日

ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態（受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定した状態）をいう。

イ 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

ウ 通期の週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

#### (2) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。工事着手日とは、実際の工事のための現場における準備作業（現場事務所等設置や測量等）に着手する日を、工事完成日とは、後片付け作業（出来形測量や現場事務所、保安施設等の撤去等）が全て終了した日をいう。

なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。

#### (3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。

#### (4) 4週8休以上

月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月ごとの現場閉所の現場閉所の日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28日のうち8日を満たす28.5パーセント以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5パーセントに満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。

なお、通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が、28日のうち8日を満たす28.5パーセント以上の水準に達する状態をいう。

また、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

#### (5) 工事旬報等 工事旬報、週報、月報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等をいう。

#### (6) 週休2日交替制

第1号の区分及び期間において、現場に従事した技術者や技能労働者の平均休日日数の割合（以下「休日率」という。）が28.5%以上（完全週休2日（交替制）にあつては2日／7日以上、月

単位の週休2日（交替制）及び通期の週休2日（交替制）あつては8日／28日以上）の水準を、技術者及び技能労働者などが交替しながら確保していると認められる状態をいう。

（対象工事）

第3条 対象とする工事は、現場閉所が可能な全ての工事（準備・後片付け期間や不稼働日（休日、降雨・降雪日その他の要因による作業不能日をいう。）を工期に適正に見込んだものに限る。）とする。ただし、災害復旧工事、緊急対応工事、工期末に制限のある工事等で、週休2日による施工の実施に適さない工事は除くものとする。

また、対象期間が1か月未満の工事については週休2日工事の対象外とする。

2 北海道農政部土地改良事業等工事積算基準を適用する工事については週休2日工事試行要領（令和7年4月1日施行）に、北海道建設部営繕工事積算要領を適用する工事については営繕工事における週休2日工事実施要領（令和7年4月1日施行）によるものとする。

（発注方式）

第4条 発注方式は、受注者希望型とし、受注者が、工事着手前に発注者に対して完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日に取り組む旨を協議した上で取り組むものとする。

ただし、完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めるものとする。

（補正方法）

第5条 当初予定価格から月単位の4週8休を前提とした経費の積算を行い、現場閉所の達成状況の結果、完全週休2日（土日）を達成した場合は増額の設計変更を行い、月単位の4週8休に満たない場合は履行状況に応じて減額の設計変更を行う。

なお、補正係数については別紙1－1のとおりとする。

（実施における留意事項）

第6条 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保及び入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工の実施に当たってはその趣旨に沿うよう努めるものとする。

2 工事の実施に当たっては、別紙2のとおりとし、入札告示文及び特記仕様書に当該工事が週休2日工事である旨を記載しなければならない。

3 受注者は、計画的な休日の取得に努めるものとするが、現場の進捗状況等から降雨、降雪等による予定外の休工日を現場閉所日とすることができるものとする。

4 受注者は、地元対応、緊急対応その他のやむを得ない事情がある場合は、工事監督員と協議の上、振替休日等により休日を取得することができるものとする。

なお、現場閉所日に現場内の安全確認等が必要な場合は、最低限の人員により対応することとする。

5 発注者は、週休2日による施工が適切に実施されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの工事旬報等や休日取得計画の提示により確認を行うものとする。

6 発注者は、災害対応等の緊急時を除き、休日の前日等に休日の作業が発生するような指示等は行わないものとする。

7 週休2日の履行が確認できた工事は、工事施行成績評価において加点評価を行う。履行が確認できた場合とは、4週8休未満による減額変更を行わなかった場合をいう。

（その他）

第7条 受注者は、週休2日工事の検証を行うためのアンケート調査等の依頼があった場合は、これに協力するものとする。

2 この要領に定めのない事項については、必要に応じて受発注者の協議により定めるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、令和7年4月1日から施行する。

(週休2日モデル工事試行要領の廃止)

2 週休2日モデル工事試行要領（令和6年4月1日制定）は廃止する。

附 則

この要領は、令和7年12月16日から施行する。